

令和6年度第2回 健康たいとう21推進協議会 議事概要

【日 時】 令和6年10月22日（火）午後7時00分～午後8時00分

【場 所】 台東区役所 10階 1001会議室

【出席】（敬称略）	会 長	中村 桂子
	副会長	須田 仁
	委 員	堀 浩一郎
	委 員	鬼久保 至彦
	委 員	三浦 啓一
	委 員	高橋 正也
	委 員	大久保 清治
	委 員	星名 聖隆
	委 員	深井 喜代子
	委 員	生駒 秀二
	委 員	財部 憲治
	委 員	笛田 美智子
	委 員	愛甲 聡
	委 員	河井 卓治
	委 員	鈴木 慎也
	委 員	佐々木 洋人
	委 員	前田 幹生
	委 員	水田 渉子

【欠席】（敬称略）	委 員	田村 順二
	委 員	山口 幸一
	委 員	松下 芳江
	委 員	橋本 秋信
	委 員	山田 隆司

【事務局】 健康部健康課

【次 第】

開 会

議 事

- 1 健康たいとう 2 1 推進計画（第三次）中間のまとめについて
- 2 その他

【資 料】

資料1 令和6年度 健康たいとう 2 1 推進協議会 委員名簿

資料2 健康たいとう 2 1 推進協議会 設置要綱

資料3 健康たいとう 2 1 推進計画（第三次）施策の体系について

資料4 健康たいとう 2 1 推進計画（第三次）中間のまとめについて

資料5 健康たいとう 2 1 推進計画（第三次）中間のまとめ（案）

資料6 健康たいとう 2 1 推進計画（第三次）策定スケジュール

【参考】健康たいとう 2 1 推進計画（第二次後期計画）概要版・本編

(午後7時00分 開会)

開 会

○健康部長

本日は、健康たいとう21推進計画（第三次）中間のまとめを提示させていただいている。

委員の皆様には、区民の皆様の健康増進のため、忌憚のないご意見をいただきたい。

○事務局

（資料確認）

（欠席委員の報告）

議 題

○会長

本日は計画の中間のまとめについてご意見をいただきたい。なお、傍聴希望の申出について、許可したいと思うが異議はないか。

（異議なし）

傍聴の方の入室を許可する。

議事の1について、事務局から説明をお願いしたい。

1 健康たいとう21推進計画（第三次）中間のまとめについて

○事務局

—資料3、資料4、資料5において、施策の体系、中間のまとめを説明—

○会長

ご質問、ご意見をいただきたい。これまでの調査や指標を踏まえて、新しい事業・取組も加えていただいた。また、区取組が基本にありながら、区民一人ひとりの取組のほか、関係機関の取組が新たに追加された。これらの取組について、ご意見をうかがい、この計画をうまく活用していただき、区全体の活動が活発になると良い。

○委員

138 ページの円グラフをみると、6割以上の方が在宅を希望している。しかし、どういうことが自宅でできるのか不安があり、主介護者が在宅療養をやると言わないことにはスタートできない。主介護者にいかに負担をかけないように多職種で連携して、自宅を病室にして切れ目のないフォローアップをしていくことが重要。たいとう地域包括ケア推進協議会を中心としてサポートしたい。在宅医療の具体的な例を示して理解してもらうことも大事。在宅で検査をしづらい部分もあるが、ポータブルのX線やエコー、眼底検査の機械等を充実させ、家で過ごしたい人に寄り添うことが重要だと思う。

○会長

計画に追加した方が良い点はあるか。

○委員

在宅で受けられるケアの種類が示せると良い。例えば、胃ろうや尿道カテーテルが入っている方、あるいは人工呼吸器をつなげている方でも、十分に在宅で療養できる時代になっている。そういうハードルを下げるような資料があると良い。または、疑問を持っている方に対して丁寧に説明するような会を、依頼があれば我々も行いたいと思っている。

○会長

希望していても、具体的にどうすれば可能なのかが見えづらい。この計画にも、少し例が反映されると良い。

○事務局

139 ページの「区取組」の②に、在宅療養に関する普及啓発冊子の作成を掲げている。これまで台東区にはそういった冊子がなかったが、在宅療養推進協議会の中でも作成を希望する意見が出ており、今後、作成に向けて検討を進めたい。

○会長

どこにつながるとそのサービスを受けられるのか。相談できるのか。多数のチャンネルがあると思うので、是非ともよろしくお願ひしたい。

○委員

資料3、基本目標1の4(3)にフレイルの予防の推進が挙げられているが、歯科をみると、オーラルフレイルという言葉が全く用いられていない。45ページには低栄養や誤嚥性肺炎とは書かれているが、オーラルフレイルについてはない。オーラルフレイルになってしまうと、後戻りが難しい。虫歯と歯周病予防も大切だが、来るべき高齢化の時代、是非オーラルフレイルの予防も取り上げていただきたい。

○会長

この計画では、オーラルフレイルは初めて出てくる言葉かもしれないが、フレイル予防という言葉が徐々に一般的になってきている一方、低栄養や誤嚥性肺炎というのは少し専門的なので、45ページあたりにうまくオーラルフレイルの説明を追加できると良い。

○事務局

103ページに「お口は清潔に保ちましょう」と入れているが、もう少し具体的な書きの方が良いのかとも思うので、検討したい。

○会長

全体のフレイルと口腔にも触れることで、さらに健康になるということと、要介護者への口腔ケアと、両方にかかわるところと思う。

○委員

熱中症という言葉がない。啓発すれば予防できる疾患でもあるので、どこかに組み入れても良い。

○事務局

114ページの区民一人ひとりの取組の中に記載させていただいている。熱中症の具体的な説明は記載していないので、検討したい。

○会長

気温を下げることは難しいが、熱中症の被害を減らすことはできる。

○委員

医学的な見地も含めて、実践できるような熱中症の予防方法について記載することが大切。具体的に記載してもらおうと良い。

○会長

区では、熱中症アラートで何らかのお知らせを出すことはあるのか。

○事務局（保健サービス課長）

熱中症アラートが出た際には、区民に対してSNS等を使って周知する体制を整備している。医学的な見地も含めて、記載を検討したい。

○委員

36 ページ、運動習慣について、前回に比べ週3日以上は減っているが、週1～2日は増えている。子ども全体での運動量は減ってきている。これに対して、38 ページの区取組では、児童に対する運動習慣を増やす施策が書かれておらず、指標も設定されていない。区民意識調査結果を用いて本文が書かれているが、大した内容が書かれている訳ではない。それを考えると、別の調査結果を持ってきて、どの性別の、どの年代で、どのような課題があるのかを絞った方が良い。そうした記載により、より効果的な施策につながると思う。95 ページ、青壮年期の健康づくりの②は、38 ページとほぼ内容が同じ。差がないということは、ターゲットが絞れていないと思う。

○事務局（保健サービス課長）

調査結果をみると、半分のひとが運動習慣はないので、運動習慣の定着を目指して様々な施策を展開している。ICTを使ったり、健康増進センターの充実により、身近な施設で運動していただきたいと考えている。36 ページは全体の運動習慣、95 ページは働き盛りの年代にあった取組を掲げている。似たような記載にはなっているが、各世代に合わせた施策を考えていきたい。

○委員

青壮年世代は、一番忙しい。健康推進委員会でイベントを行っても、実際にはかなり高齢の方が多く集まる。そうするとスピードも高齢の方に合わせざるをえない。なるべく広い年齢層にアピールできるようなイベントに変えていこうとしている。また、上野と千束にある健康増進センターで

も、高齢者が非常に多い。時間帯の問題もあり、民間のように 24 時間体制は難しいが、働き盛りの方に場を提供できていない。仕掛けの問題として考えていく必要がある。

○会長

高齢になってからの健康づくりも大切だが、働き盛りのときに運動をしているのか、していないのかで結構違ってくる。年代層に合わせた工夫等、色々と仕掛けはあると思う。

○事務局（保健サービス課長）

健康増進センターの利用者は高齢の女性の方が多い。今後の取組として、施設時間の延長を予定している。また、教室の内容も、疾患別プログラム等を作成していきたい。今後は、男性や幅広い世代の方が参加できる施設に変えていきたい。

○委員

健康増進センターに似た組織として、区役所・区民館に附属したもので、もう少しコンパクトな仕掛けもある。そこもセットで合わせて考えていただきたい。フレイルやサルコペニア（高齢期にみられる骨格筋量の低下と筋力もしくは身体機能の低下のこと）などに関心を持たれている高齢女性は多い。そういう場所として使えることも考えていただきたい。

○会長

健康寿命の延伸を目標に取り組んでいるので、健康な高齢者が増えている。これは大変良いこと。一方で、若い方も参加できる仕組みがあると良い。健康に対する関心は高くなっている。

○委員

62～63 ページ、薬物乱用防止に関する啓発活動について、項目を復活していただきありがたい。オーバードーズの場合、薬物としての一般薬を飲み過ぎるのは、その人の心の健康と関連しているという部分も入れてもらえると良い。

112 ページの環境衛生の状況について、区の施設で 1 万平米超える建物が増えており、所管は東京都になるので、区と都の絡みが出てくると思うが、そのあたりの連携について、どのようにしていくか記載はしない方向か。

○事務局（生活衛生課長）

こうした計画にどこまで示すのかも含めて検討したい。

○委員

通達も出ていると思うが、最近トコジラミの被害が増えている。そのあたりも考慮していただけると良い。

○事務局（生活衛生課長）

ダニやトコジラミについても、どう記述できるのか検討したい。

○会長

環境衛生については、東京都の計画においてもあまり更新されていない。そういう意味では、台東区が新しい課題に直面するかもしれない。

高橋委員から発言のあった、薬物のところに心の健康を絡めるという点は、区民一人ひとりの取組のところに少し加えた方が良いということか。

○委員

オーバードーズは特に、精神保健福祉センターで対応する必要がある。二重になるが、そのあたりの文言は入っても良いかなと思う。

こころの健康のページには相談窓口について言及があるが、薬物乱用のページにはない。特にオーバードーズについては、精神保健福祉センターの方で対処しなければならないこともあると思うので、二重にはなるがそのあたりの文言を加えるのが良いのかと考えた。

○副会長

目標ごとに色味が共通になり、わかりやすくなった。項目ごとに見出しをつけたので、まとまりがある。

区民一人ひとりの取組のボリュームが増えて、具体的な表記が増えているので、区民にとって分かりやすくなったと感じる。関係機関の取組も追加されたが、区の持っている資源を活用して、区全体で盛り上げる感じが出ていて、とても良い。

一つ提案は、相談窓口がそれぞれの事業にある。相談窓口の一覧表にまとめると良いのではないか。総合的な横串になる一覧表があると良いのではないか。概要版にあっても良い。相談窓口が記載されていても、具体的にどこ

なのかを明記した方が良い。区役所の所管課ごとになっているので、そのあたりも書いておいた方が良いと思う。

○事務局

庁内で検討したい。

○委員

窓口は非常に大事。誰かが受け止めてくれる役所であってほしい。

○会長

多方面からご意見をいただいた。是非、ご検討いただきたい。次の議事に移りたい。

2 その他

○事務局

—資料6について説明—

○会長

次の会議は1月下旬を予定している。他に何かあるか。

(特になし)

それでは、本日予定していた議事はすべて終了したので、これをもって「健康たいとう21推進協議会」を終了する。

閉 会

(午後8時00分 閉会)